

令和5年度事務事業評価（令和4年度事後評価）

子育て支援部

所属名	事務事業名	ページ番号
保育幼稚園課	保育所（園）入所事務	2
保育幼稚園課	保育士等研修会開催事業	3
保育幼稚園課	保育士就職支援金給付事業	4
保育幼稚園課	保育士家賃補助事業	5
保育幼稚園課	幼保小の接続期における教育推進事業	6
保育幼稚園課	就学前児童特別支援教育推進事業	7
保育幼稚園課	ファミリーサポートセンター事業	8
保育幼稚園課	私立保育園運営事業	9
保育幼稚園課	子育て支援センター事業の充実（私立保育園）	10
保育幼稚園課	延長保育事業（私立保育園・認定こども園・地域型保育）	11
保育幼稚園課	一時保育事業（私立保育園・認定こども園）	12
保育幼稚園課	障害児保育事業（私立保育園・認定こども園）	13
保育幼稚園課	保育所地域活動事業（私立保育園・認定こども園）	14
保育幼稚園課	私立保育園支援事業	15
保育幼稚園課	私立保育園等整備助成事業	16
保育幼稚園課	私立保育園等防犯対策強化事業	17
保育幼稚園課	認定こども園施設型給付事業	18
保育幼稚園課	預かり保育事業（認定こども園・私立幼稚園）	19
保育幼稚園課	地域型保育給付事業	20
保育幼稚園課	施設等利用費負担事業	21
保育幼稚園課	認可外保育施設健康対策事業	22
保育幼稚園課	児童安全対策事業（認可外保育施設）	23
保育幼稚園課	認可外保育施設特別支援保育事業	24
保育幼稚園課	保育所等業務効率化推進経費	25
保育幼稚園課	保育所等における睡眠中の事故防止対策事業	26
保育幼稚園課	新型コロナウイルス感染症対策支援事業	27
保育幼稚園課	保育体制強化事業	28
保育幼稚園課	保育補助者雇上強化事業	29
保育幼稚園課	医療的ケア児保育支援事業	30
保育幼稚園課	保育施設等給食物価高騰等対策経費	31
保育幼稚園課	公立保育所管理運営事業	32
保育幼稚園課	子育て支援センター事業の充実（公立保育所）	33
保育幼稚園課	延長保育事業（公立保育所）	34
保育幼稚園課	一時保育事業（公立保育所）	35
保育幼稚園課	公立認定こども園整備事業	36
保育幼稚園課	エスプラッツ子育て支援センター管理事業	37
保育幼稚園課	公立幼稚園運営事業	38
保育幼稚園課	預かり保育事業（公立幼稚園）	39
保育幼稚園課	私立幼稚園施設型給付事業	40
保育幼稚園課	私立幼稚園振興事業	41
保育幼稚園課	私立幼稚園預かり保育推進事業	42
保育幼稚園課	私立幼稚園特別支援教育奨励費補助事業	43
保育幼稚園課	実費徴収に係る補足給付事業（私立幼稚園）	44
保育幼稚園課	施設等利用費負担事業	45

令和5年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	保育所（園）入所事務	事業期間	昭和 40 ～ 年度
担当部署・係名	保育幼稚園課 入所・入園係	担当課長名	豆田 伸介
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	23安心して子育てできる環境の充実	
	基本事業	子育てと仕事の両立のための支援	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	保育施設（保育所（園）・認定こども園・地域型保育施設）の利用を希望する保護者から、入所申込を受け付け、希望に沿って入所できる保育施設を決定するための調整を行う。				
事業の対象者	小学校就学前児童（及び保護者）				
令和4年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・「教育・保育施設の案内」WEB版作成・公開 ・4月入所3次申込み受付開始 ・保育施設及び教育施設への入園を希望する保護者からの相談対応 ・保育施設への入所申込受付 ・希望に応じた入所調整作業 				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	15,775	14,565	15,287		
うち佐賀市の負担額	15,775	14,565	15,287		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
保育施設入所待機児童数（毎年度3月の待機児童数）						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
110	45 3	0 1	0	0	0	

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	待機児童「1」は医療的ケア児であり、環境の適した受入れ施設について関係機関と連携して対応中である。



成果目標達成に向けた対応策等
児童数自体は年々減少傾向にあるものの、共働き世帯の増加やコロナ禍の預け控えの反動等により今後も保育の需要は増加すると見込まれる。一方で、定員割れが生じている施設もあることから希望園に入所できない場合には、他の受入れ可能な施設を案内する等の対応を行う。

令和5年度 事務事業進捗報告シート

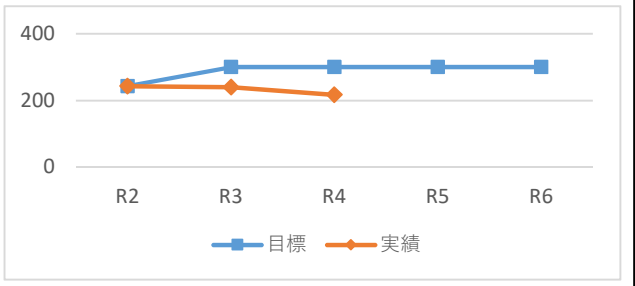
事務事業名	保育士等研修会開催事業	事業期間	平成 23 ~ 年度
担当部署・係名	保育幼稚園課 幼保支援係	担当課長名	豆田 伸介
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	23安心して子育てできる環境の充実	
	基本事業	子育てと仕事の両立のための支援	

1 事務事業の基本情報

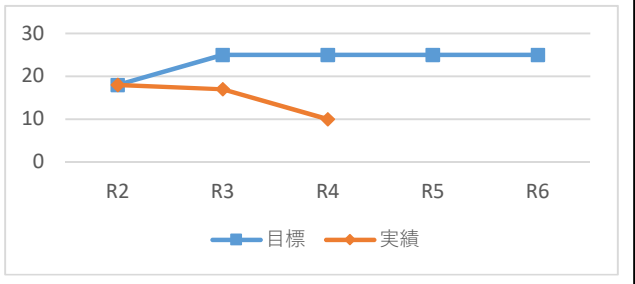
事業概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> ・保育士という職業への関心を高め、就業への不安を軽減することを目的とし、保育士チャレンジ研修会を開催したり、保育士という仕事の魅力を伝える広報を行う。 ・教育・保育従事者を対象とした教育・保育従事者研修会を開催する。 				
事業の対象者	潜在保育士、市内の教育・保育施設従事者など				
令和4年度主な活動実績	R4年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため対象者や定員を絞っての開催を行った。 <ul style="list-style-type: none"> ・保育士チャレンジ研修会 ・月刊ぶらざに保育士の魅力を伝える座談会の掲載 ・教育・保育施設従事者研修会の実施（年3回） 				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	873	859	768		
うち佐賀市の負担額	437	430	383		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
延べ参加者数（従事者研修会）						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
243	300 239	300 217	300	300		



成果指標②						単位
延べ参加者数（チャレンジ研修会）						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
18	25 17	25 10	25	25		



3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	新型コロナウイルスによる影響で大人数で集まった研修が難しい中、対策をしながら開催を行い、より多くの人に保育士という職業への関心の向上と保育所の質の向上に努めた。



成果目標達成に向けた対応策等
業務時間中の研修開催になるため、保育業務とのバランスを考慮した参加者数にはなると思うが、研修内容を持ち帰ってから園内で共有してもらい、佐賀市内の園の保育の質の向上につながるよう研修内容について精査していきたい。

令和5年度 事務事業進捗報告シート

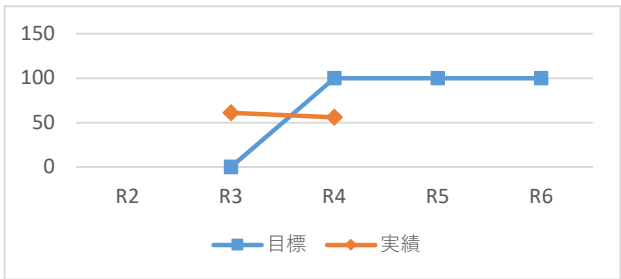
事務事業名	保育士就職支援金給付事業	事業期間	令和 3 ~ 令和 6 年度
担当部署・係名	保育幼稚園課 幼保事業係	担当課長名	豆田 伸介
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	23安心して子育てできる環境の充実	
	基本事業	子育てと仕事の両立のための支援	

1 事務事業の基本情報

事業概要	保育施設等における待機児童対策の一環として、保育士等として就職する際の準備費用の一部として就職支援金を給付することにより、市内の保育施設等に就職するインセンティブを高め、本市の保育人材不足の解消を図る。				
事業の対象者	市内保育施設等の新規採用の保育士等のうち、一定の要件を満たす者				
令和4年度 主な活動実績	支援金対象者に就職支援金（10万円）を給付した。 ○支援金給付者数 56人				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額		6,100	5,543		
うち佐賀市の負担額		6,100	5,543		

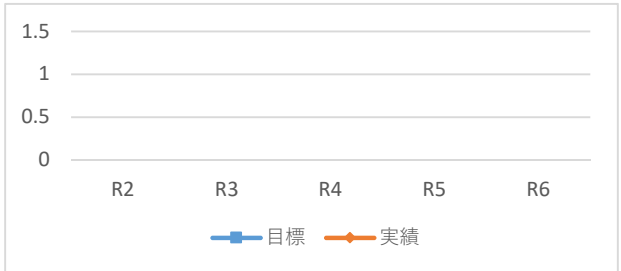
2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
支援金給付者						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
	61	100 56	100	100		



年度	目標	実績
R3	100	56
R4	100	56
R5	100	
R6	100	

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		



年度	目標	実績
R3	0	0
R4	0	0
R5	0	
R6	0	

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	施設側の雇用条件等の処遇が大きく影響するため、施設側の協力も必要と思われる。補助対象者自体を増加させる必要がある。



成果目標達成に向けた対応策等
周知を図ることにより、よりインセンティブを高め、保育士等の人材確保に努める。

令和5年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	保育士家賃補助事業	事業期間	令和 4 ~ 令和 8 年度
担当部署・係名	保育幼稚園課 幼保支援係	担当課長名	豆田 伸介
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	23安心して子育てできる環境の充実	
	基本事業	子育てと仕事の両立のための支援	

1 事務事業の基本情報

事業概要	市内の賃貸住宅に居住する保育士、保育教諭又は幼稚園教諭に、家賃の一部を補助し、保育士の安定的な確保を図ることを目的とする。				
事業の対象者	市内保育施設等の新規採用の保育士等のうち、一定の要件を満たす者				
令和4年度 主な活動実績	支援金対象者に月額1万円以内（最長36か月）を給付した。 ○支援金給付者数 5人				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額			600		
うち佐賀市の負担額			600		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
支援金給付者						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
		5	21	26		

年度	目標	実績
R3	5	5
R4	21	21
R5	26	26
R6	26	26

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

年度	目標	実績
R3	0	0
R4	0	0
R5	0	0
R6	0	0

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和4年度は基準値となるため、令和5年度の実績結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
周知を図ることにより、よりインセンティブを高め、保育士等の人材確保に努める。

令和5年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	幼保小の接続期における教育推進事業	事業期間	平成 18 ~ 年度
担当部署・係名	保育幼稚園課 幼保支援係	担当課長名	豆田 伸介
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	24就学前からの教育の充実	
	基本事業	幼児教育の充実	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	幼保小接続期プログラム「えがおわくわく」を用いて教育・保育施設及び小学校でプログラムを実践することにより、幼保小の育ちと学びの連続性を重視したスムーズな移行につなげる。				
事業の対象者	新1年生及び教育・保育施設の年長児				
令和4年度主な活動実績	令和2年度「えがおわくわく」改訂版を全年長児担任と全小学1年生担任に配布、接続期プログラム「えがお・わくわく」の研修会、保育参観、授業参観、年長児保護者へパンフレット配布等を実施。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	3,198	3,320	3,117		
うち佐賀市の負担額	3,198	3,320	3,117		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
幼稚園・保育所（園）から小学校へ円滑に接続できたと思う小学1年生の学級の割合						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
93.8	100 96.2	100 100	100	100		

年度	目標 (%)	実績 (%)
R2	100	93.8
R3	100	96.2
R4	100	100
R5	100	100
R6	100	100

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

年度	目標	実績
R2	0	0
R3	0	0
R4	0	0
R5	0	0
R6	0	0

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	新型コロナウイルス感染症の影響から開催方法を検討したうえで、「小1年担任研修会」や「年長児担任研修会」、「幼保小合同研修会」等の内容の充実を図りながら実施してきたことにより、昨年度以上に「幼稚園・保育所（園）から小学校へ円滑に接続できたと思う小学1年生の学級の割合」は増えている。



成果目標達成に向けた対応策等
幼児期の育ちを断絶させずに、小学校への滑らかな接続を図ることが今日の重要な課題であることから、「えがお・わくわく」の実践・検証・再考を繰り返す。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	就学前児童特別支援教育推進事業	事業期間	平成 21 ~ 年度
担当部署・係名	保育幼稚園課 幼保支援係	担当課長名	豆田 伸介
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	24就学前からの教育の充実	
	基本事業	いじめ、不登校等対策と特別な配慮を必要とする児童生徒へのきめ細やかな教育の充実	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	特別な支援を必要とする乳幼児について、在籍する教育・保育施設の保育者や保護者の相談を受けるとともに、就学に向けた支援を行う。				
事業の対象者	公私立の教育・保育施設に通園する特別な支援を必要とする園児				
令和3年度主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・特別な支援を必要とする乳幼児について、在籍する教育・保育施設の保育者や保護者の相談を受けるとともに、就学に向けた支援を行った。 ・幼稚園・保育所（園）等に対し専門的な見地から助言するため、発達障がいに関する専門知識を有する発達支援アドバイザーを配置した。 				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	9,903	12,968	13,069		
うち佐賀市の負担額	2,495	3,266	3,268		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
特別支援教育相談員による「気になる子」についての園との相談等が役に立ったと思う教育・保育施設の割合						%
R2 実績	R3 目標	R3 実績	R4 目標	R4 実績	R5 目標	R5 実績
100	100	96.4	100	100	100	100
成果指標②						単位
特別支援教育相談員による保護者とのコーディネートや関わりが効果的だったと思う教育・保育施設の割合						%
R2 実績	R3 目標	R3 実績	R4 目標	R4 実績	R5 目標	R5 実績
100	100	95.7	100	100	100	100

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	「特別支援学級見学会」を行い、就学までの流れや就学に関する情報提供を行う「特別支援個別面談」を実施し、特別な支援を必要とする子どものよりよい就学につなげるよう努めたことにより、成果目標を達成できている。



成果目標達成に向けた対応策等
本事業を継続しながら、研修受講や発達支援アドバイザーからの助言等によって、特別支援教育相談員のスキルをさらに向上させていき、個々の特性に応じたスムーズな就学事務指導を行い、特別な支援を必要とする子どものよりよい就学につなげていくことで今後も、成果目標達成に努めていく。

令和5年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	ファミリーサポートセンター事業	事業期間	平成 12 ~ 年度
担当部署・係名	保育幼稚園課 幼保支援係	担当課長名	豆田 伸介
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	23安心して子育てできる環境の充実	
	基本事業	子育てと仕事の両立のための支援	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	核家族化が進む中、誰もが安心して子育てができる社会環境を築くことを目的とする。子育ての援助を受けたい保護者（依頼会員）と援助を行いたい者（サポート会員）とを会員として登録し、必要なサポート内容に応じて、アドバイザーが会員同士をコーディネートする。サポートには、利用対象やサポート内容によってサポートママとファミリーサポートの2種類がある。				
事業の対象者	【サポートママ】佐賀市在住で身内から身の回りの世話が受けられない妊産婦【ファミリーサポート】佐賀市在住または市内勤務の方で身内から身の回りの世話が受けられない方				
令和4年度主な活動実績	・ファミリーサポート R4年度【提供会員登録数】150人【依頼会員登録数】570人【両方会員】3人【活動件数】1,421件 ・サポートママ R4年度【提供会員登録数】139人【依頼会員登録数】14人【利用世帯数】29世帯【活動件数】108件				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	6,702	6,976	6,349		
うち佐賀市の負担額	3,021	3,298	3,069		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
ファミリーサポート及びサポートママの活動件数						件
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
1,985	2,000 1,683	2,000 1,529	2,000	2,000		

成果指標②						単位
ファミリーサポート・サポートママ利用者の満足度						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
90	92 92	92 98	92	92		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	サポート会員が利用者へ寄り添うことで、子育てへの不安感等の減少につながっている。



成果目標達成に向けた対応策等
ファミリーサポート・サポートママの制度の周知に努め、支援を求める依頼会員及びサポート会員の獲得を図ることで、活動件数の増加につなげる。また、質の高い支援を提供するためにサポート会員に対する研修を行う。

令和5年度 事務事業実績報告シート

事務事業名	私立保育園運営事業	事業期間	昭和 40 ~ 年度
担当部署・係名	保育幼稚園課 入所・入園係	担当課長名	豆田 伸介
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	23安心して子育てできる環境の充実	
	基本事業	子育てと仕事の両立のための支援	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	<p>○私立保育園運営費 市内に居住している児童が通う私立認可保育園・管外公立保育所（以下「私立保育園等」という。）に対し、保育の実施に要する費用として国が定める公定価格に基づき算定した額を支払う。 なお児童福祉法の規定により、保育所における保育は市町村が実施することされており、佐賀市と利用者（保護者）が契約し、佐賀市は私立保育園等に対して、保育に要する費用を委託費として支払うこととなる。 【費用負担 国1/2 県1/4 市1/4】</p> <p>○保育士・幼稚園教諭等処遇改善臨時特例事業（令和4年度9月まで） 令和4年4～9月において、職員に対して3%程度（月額9,000円）の賃金改善を行う教育・保育施設等に対して、当該賃金改善を行うために必要な費用を補助する。 【費用負担 国10/10】</p>				
事業の対象者	私立保育園等に児童を通わせる保護者、私立保育園等事業者				
根拠法令等	子ども・子育て支援法				
決算額の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業費総額	3,501,839	3,472,196	3,070,857		
うち佐賀市の負担額	890,275	774,675	676,114		

2 事業の活動実績

活動実績①					単位	
延べ入所児童数					人	
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績		
36,920	35,915	33,491				
活動実績②					単位	
給付施設数（管外施設含む）					施設	
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績		
76	63	65				

3 活動実績の推移に関する分析及び今後の見込み

<ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化の進行により、出生数の減少傾向が続くものの、共働き世帯等の増加に伴い、保育需要は今後も増加するものと見込まれる。 ・近年、管内私立保育園が認定こども園に移行する傾向があり、保育園としての全体の施設数・入所児童数・事業費は減少していくものと思われる。

令和5年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	子育て支援センター事業の充実（私立保育園）	事業期間	平成 15 ~ 年度
担当部署・係名	保育幼稚園課 幼保支援係	担当課長名	豆田 伸介
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	23安心して子育てできる環境の充実	
	基本事業	子育て環境の整備	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場の提供や子育てについての相談、情報の提供、助言その他の支援を地域の実情に応じて実施するため、常設の地域子育て支援拠点を開設している私立保育園8園と佐賀市社会福祉協議会に補助を行い、地域で支えあう子育て機能の充実を図る。				
事業の対象者	就学前児童及びその保護者				
令和4年度 主な活動実績	R4年度 【子育てサロン実施回数】484回 【育児相談件数】1,371件				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	74,203	77,159	89,706		
うち佐賀市の負担額	24,734	25,719	28,892		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
育児不安が解消できた人の割合						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
87.4	90 89.1	90 79.5	90	90		

年度	目標 (%)	実績 (%)
R2	90	87.4
R3	90	89.1
R4	90	79.5
R5	90	90
R6	90	90

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

年度	目標	実績
R2	0	0
R3	0	0
R4	0	0
R5	0	0
R6	0	0

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	育児をしている多くの親の身近な拠り所として、子育てに関する悩みの相談の場、親同士の交流の場、講習会等の開催による学びの場となっている。前年度よりもサロンの実施回数、参加者数、育児相談件数が増加しているが、不安解消ができた人の割合が減った。



成果目標達成に向けた対応策等
多様化する子育てのニーズに対し、交流の場や育児に関する情報の提供や育児相談等の支援を継続していく。

令和5年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	延長保育事業（私立保育園・認定こども園・地域型保育）	事業期間	平成 12 ～ 年度
担当部署・係名	保育幼稚園課 幼保事業係	担当課長名	豆田 伸介
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	安心して子育てできる環境の充実	
	基本事業	子育てと仕事の両立のための支援	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	保育施設の入所児童のうち、保護者の就業等のため保育標準時間（11時間）または保育短時間（8時間）を超えて保育を必要とする児童について、保育時間外に30分以上の延長保育を実施している保育施設へ補助を行う。				
事業の対象者	私立保育所、認定こども園、地域型保育事業所				
令和4年度 主な活動実績	○私立保育園 ・標準時間（30分：21,420人、1時間：6,896人） ・短時間（1時間：5,349人、2時間：1,162人、3時間：6人） ○認定こども園 ・標準時間（30分：7,064人、1時間：6人） ・短時間（1時間：6,581人、2時間：1,319人、3時間：45人） ○地域型保育事業 ・標準時間（30分：222人、1時間：40人）				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	28,906	30,910	31,832		
うち佐賀市の負担額	9,636	10,304	10,612		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
延長保育延べ利用児童数						人時間
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
54,471	68,800 54,538	71,000 50,110	73,200	75,400		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	コロナ禍の影響が続いており利用児童数は成果目標に届いていないものの、延長保育を必要とする児童の受け入れができています。



成果目標達成に向けた対応策等
延長保育を必要とする児童を確実に受け入れられるよう、本事業を実施する各施設における現体制を引き続き確保するよう努めるとともに、自主事業で実施している施設や未実施施設に対しても本事業の周知を図る。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	一時保育事業（私立保育園・認定こども園）	事業期間	平成 3 ～ 年度
担当部署・係名	保育幼稚園課 幼保事業係	担当課長名	豆田 伸介
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	安心して子育てできる環境の充実	
	基本事業	子育てと仕事の両立のための支援	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	保育施設において、保護者の急病や冠婚葬祭、出産、育児疲れなどにより、緊急、一時的に家庭で子どもの保育が困難になった場合に、主として保育所、幼稚園、認定こども園等に通っていない、又は在籍していない乳幼児を預かる。				
事業の対象者	私立保育園、認定こども園				
令和3年度 主な活動実績	保護者の急病や冠婚葬祭等の理由により、一時的に乳幼児を預かるため、私立保育園等に委託して一時保育事業を実施した。 ○私立保育園 委託事業者：2施設 ・1日預かり：207人 ・半日預かり：70人 ○認定こども園 委託事業者：5施設 ・1日預かり：1,206人 ・半日預かり：1,002人				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	3,716	3,411	3,509		
うち佐賀市の負担額	1,239	1,137	1,171		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
一時的保育事業延べ利用児童数						人日
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
2,398	2,470 2,416	2,380 2,485	2,280	2,190		

Year	Target	Actual
R2	2,190	2,398
R3	2,190	2,416
R4	2,190	2,485
R5	2,280	2,485
R6	2,190	2,485

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

Year	Target	Actual
R2	0.5	0.8
R3	0.5	0.8
R4	0.5	0.8
R5	0.5	0.8
R6	0.5	0.8

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	本事業を実施する保育施設が1施設減少したが、残りの施設で補うことができ成果目標とする利用児童数の受け入れを達成できている。



成果目標達成に向けた対応策等
本事業の利用を必要とする児童の受け入れができるよう、本事業を実施する各施設における現体制を引き続き確保するよう努めるとともに、幅広い事業者が本事業に参入できるような制度の拡充を図る。また、市民等に対してHPや冊子で本制度を周知するとともに、利用者が知りたい情報の発信に努める。

令和5年度 事務事業進捗報告シート

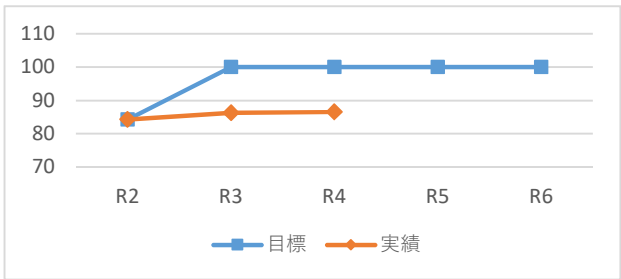
事務事業名	障害児保育事業（私立保育園・認定こども園）	事業期間	平成 4 ～ 年度
担当部署・係名	保育幼稚園課 幼保事業係	担当課長名	豆田 伸介
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	23安心して子育てできる環境の充実	
	基本事業	子育てと仕事の両立のための支援	

1 事務事業の基本情報

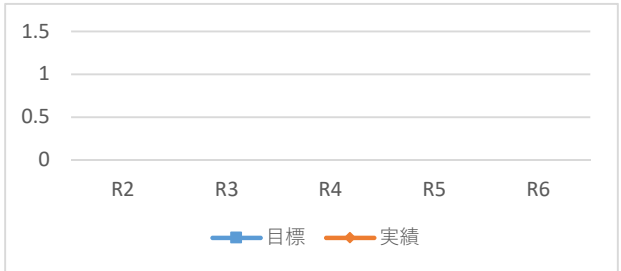
事業概要・目的	子育てと就労の両立支援の一環として、日々通園できる障がい児の受け入れを、保育施設で実施する。特別な支援を要する児童には保育士が手厚く関わる必要があり、保育士の加配等が必要なため、そのための経費を補助する。				
事業の対象者	私立保育園、認定こども園				
令和4年度 主な活動実績	○私立保育園・特別児童扶養手当支給対象者：18施設 26人 ・身体障害者手帳又は療育手帳保持者等：22施設 88人 ○認定こども園・特別児童扶養手当支給対象者：12施設 24人 ・身体障害者手帳又は療育手帳保持者等：20施設 68人 ○幼稚園型認定こども園（3歳未満児童）：4施設 6人				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	92,580	105,807	125,402		
うち佐賀市の負担額	91,471	104,742	123,757		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
保育施設での保育が必要で特別な支援を要する児童の受入割合						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
84.3	100 86.3	100 86.5	100	100		



成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		



3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	特別な支援が必要な子どもの受け入れ体制を構築することで、良質かつ適切な教育・保育等を提供出来ている。



成果目標達成に向けた対応策等
保育施設入所を希望する、特別な支援が必要な子どもを持つ保護者は今後も増加すると思われるため、引き続き、子どもの安全を確保し、保育施設が受け入れやすい環境を整えられるよう、補助金の交付の周知や活用を各事業所へ働きかけていく。

令和5年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	保育所地域活動事業（私立保育園・認定こども園）	事業期間	平成 4 ~ 年度
担当部署・係名	保育幼稚園課 幼保事業係	担当課長名	豆田 伸介
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	安心して子育てできる環境の充実	
	基本事業	子育てと仕事の両立のための支援	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	核家族化の進行等で地域や異なる世代とのかかわりが少なくなっている私立保育園及び認定こども園（幼保連携型・保育所型）が地域に開かれた保育施設を目指すために実施する園児と地域の人との交流事業や育児講座など取り組みを支援する。				
事業の対象者	私立保育園、認定こども園				
令和4年度 主な活動実績	私立保育園等が下記の事業を実施した場合に補助を行った。 ・世代間交流等事業（園児と地域の高齢者等との世代間交流事業）：13施設 ・異年齢児交流等事業（園児と地域の児童との交流事業）：6施設 ・育児講座・育児と仕事両立支援事業（地域の乳幼児をもつ保護者等に対する育児等支援事業）：7施設 ・小学校低学年児童の受入れ（小学校低学年児童の一時保育事業）：2施設				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	622	614	622		
うち佐賀市の負担額	622	614	622		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
事業実施件数						施設
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
27	56 25	56 28	56	56		

年度	目標	実績
R2	56	27
R3	56	25
R4	56	
R5	56	
R6	56	

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

年度	目標	実績
R2	0	0
R3	0	0
R4	0	0
R5	0	0
R6	0	0

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	令和4年度において、新型コロナウイルスの感染拡大状況については減少傾向が見られたものの、事業実施を見送る施設が多く事業実施件数が成果目標に届いていない。

成果目標達成に向けた対応策等
令和5年度から新型コロナウイルス感染症法上の位置づけが2類相当から5類へ移行となり、規制が緩和されることから、令和5年度以降においては、事業実施する施設が増加すると推測される。幼少期からの様々な交流等は園児の発育に有効な手段であることから、引き続き事業を実施していく。

令和5年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	私立保育園支援事業	事業期間	平成 17 ~ 年度
担当部署・係名	保育幼稚園課 幼保事業係	担当課長名	豆田 伸介
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	23安心して子育てできる環境の充実	
	基本事業	子育てと仕事の両立のための支援	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	児童福祉の増進を図るため、佐賀市私立保育園会に対し、運営に関する経費、研修会の開催及び参加に関する経費、一般廃棄物収集に関する委託費及び一時保育園児、休日保育園児及び地域子育て支援拠点事業の利用児童の傷害保険への加入掛金等に対し、補助金を交付する。				
事業の対象者	佐賀市私立保育園会、保育園利用児及び地域子育て支援拠点事業の利用児童				
令和4年度主な活動実績	佐賀市私立保育園会が行う保育事業の発展・振興を目的とした事業に対して助成を行った。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	7,708	9,518	9,523		
うち佐賀市の負担額	7,708	9,518	9,523		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
園児が楽しく幼稚園・保育所（園）に通っていると感じている市民の割合						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
81.1	94.8 87.8	94.9 89.3	94.9	95.0		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	私立保育園等が実施する事業に対し補助することにより、保育事業の運営の充実を図ることができている。



成果目標達成に向けた対応策等
保育需要の増加、多様化する保育ニーズに適応した保育サービスを提供するためには、佐賀市内の私立保育園の保育内容の維持、充実が必要であるため、実施する事業に対し補助を継続していく。

令和5年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	私立保育園等整備助成事業	事業期間	昭和 40 ~ 年度
担当部署・係名	保育幼稚園課 幼保支援係	担当課長名	豆田 伸介
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	23安心して子育てできる環境の充実	
	基本事業	子育てと仕事の両立のための支援	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	私立保育園等が、入所定員の増員等により待機児童を減少させること、または老朽化対策を目的として施設整備を行う場合に、その施設整備に係る経費の一部に対して助成を行う。				
事業の対象者	施設整備を行う私立保育園等				
令和4年度 主な活動実績	・私立保育園等の施設整備に対し補助を行い、待機児童の解消と保育環境の向上を図った。 施設整備数：4園（うち1園 令和5年度中に園舎完成のため次年度へ繰越・繰越額：200,815千円）				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	0	666,174	374,493		
うち佐賀市の負担額	0	121,340	83,362		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
助成対象施設数						箇所
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
1	3 3	3 3	1 1	1 1		

年度	目標	実績
R2	1	1
R3	3	3
R4	3	3
R5	1	1
R6	1	1

成果指標②						単位
保育施設入所待機児童数（毎年度3月の待機児童数）						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
110	45 3	19 0	3 3	0 0		

年度	目標	実績
R2	110	110
R3	45	3
R4	19	0
R5	3	3
R6	0	0

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	施設整備により待機児童者数は大幅に改善したものの、低年齢層の保育の需要は高い状況であることから、次年度以降も待機児童改善に向けた施設整備を進めていきたい。



成果目標達成に向けた対応策等
児童数自体は年々減少傾向にあるものの、共働き世帯の増加等により今後も保育の需要は増加すると見込んでいることから、既存の認可施設の増改築の推進を図っていく。

令和5年度 事務事業進捗報告シート

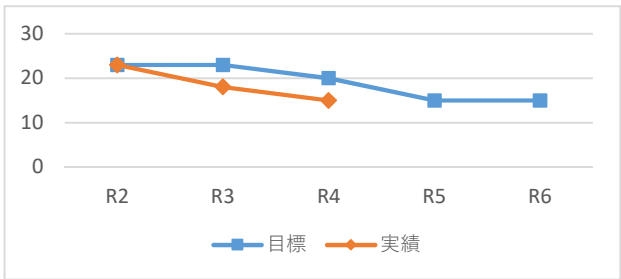
事務事業名	私立保育園等防犯対策強化事業	事業期間	平成 28 ~ 年度
担当部署・係名	保育幼稚園課 幼保支援係	担当課長名	豆田 伸介
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	23安心して子育てできる環境の充実	
	基本事業	子育てと仕事の両立のための支援	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	私立保育園等（認可保育園、認定こども園、小規模保育事業所）が、施設の防犯対策の強化を目的として、防犯カメラの設置や外構（門扉、フェンスの設置改修）工事を行う場合に、その整備に係る経費の一部に対して助成を行う。				
事業の対象者	防犯対策強化整備を行う私立保育園等				
令和4年度 主な活動実績	施設の防犯対策向上を図るため、保育園及び認定こども園（14園15件）の非常通報装置等の設置や門、フェンス等の外構の設置改修に対し補助を行った。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	27,229	18,425	15,836		
うち佐賀市の負担額	9,075	6,140	5,277		

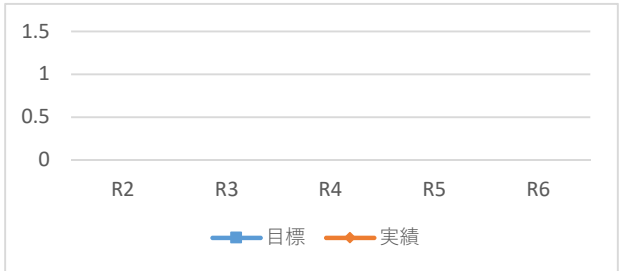
2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
助成対象施設数						箇所
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
23	23 18	20 15	15	15		



年度	目標	実績
R2	23	23
R3	20	18
R4	15	15
R5	15	15
R6	15	15

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		



年度	目標	実績
R2	0	0
R3	0	0
R4	0	0
R5	0	0
R6	0	0

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	防犯対策の強化にかかる整備について、目標値の8割程度の施設を実施できたが、一部国からの指摘により補助対象外となったものや園の都合による辞退などで目標値を下回る結果となった。



成果目標達成に向けた対応策等
私立保育園等における防犯対策の強化を推進する。

令和5年度 事務事業実績報告シート

事務事業名	認定こども園施設型給付事業	事業期間	平成 27 ~ 年度
担当部署・係名	保育幼稚園課 入所・入園係	担当課長名	豆田 伸介
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	23安心して子育てできる環境の充実	
	基本事業	子育てと仕事の両立のための支援	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	<p>○施設型給付費 子ども・子育て支援法に定められている施設型給付費の支給に係る施設として確認する教育・保育施設に対して、教育・保育に要した費用として国が定める公定価格に基づき算定した額を支払う。 本来であれば、教育・保育に関する給付は保護者に対する個人給付を基礎とするが、確実に教育・保育に要する費用に充てるため、市から利用施設へ直接支払う仕組み（法定代理受領）とされている。 【費用負担 国1/2 県1/4 市1/4】</p> <p>○保育士・幼稚園教諭等処遇改善臨時特例事業（令和4年度9月まで） 令和4年4～9月において、職員に対して3%程度（月額9,000円）の賃金改善を行う教育・保育施設等に対して、当該賃金改善を行うために必要な費用を補助する。 【費用負担 国10/10】</p>				
事業の対象者	認定こども園に児童を通わせる保護者、認定こども園事業者				
根拠法令等	子ども・子育て支援法				
決算額の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業費総額	4,129,303	4,239,637	4,936,589		
うち佐賀市の負担額	1,229,748	1,137,716	1,293,992		

2 事業の活動実績

活動実績①					単位	
延べ入所児童数					人	
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績		
52,937	53,934	57,981				
活動実績②					単位	
給付施設数（管外施設含む）					施設	
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績		
63	56	63				

3 活動実績の推移に関する分析及び今後の見込み

・少子高齢化の進行により出生数の少傾向が続くものの、共働き世帯等の増加に伴い、保育需要は今後も増加するものと見込まれる。

・近年、管内の私立保育園や私立幼稚園が認定こども園に移行する傾向があり、認定こども園としての全体の施設数・入所児童数・事業費は増加していくと思われる。

令和5年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	預かり保育事業（認定こども園・私立幼稚園）	事業期間	平成 27 ~ 年度
担当部署・係名	保育幼稚園課 幼保事業係	担当課長名	豆田 伸介
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	23安心して子育てできる環境の充実	
	基本事業	子育てと仕事の両立のための支援	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	教育時間前後に保育を必要とする児童（佐賀市在住で、私立の認定こども園・幼稚園に在籍）を対象とした一時預かり事業を当該児童が在籍する園に委託することにより、安心して子育てできる環境を整備する。				
事業の対象者	私立の認定こども園・幼稚園に在籍する児童				
令和4年度 主な活動実績	認定こども園・幼稚園に委託して、預かり保育事業を実施した。 ・対象施設数：32施設（認定こども園25施設、幼稚園7施設） ・延べ利用児童数：129,533人（認定こども園96,353人、幼稚園33,180人）				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	106,913	123,114	150,586		
うち佐賀市の負担額	35,638	41,038	52,124		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
実施園						施設
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
27	43 28	43 32	43	43		

成果指標②						単位
延べ利用児童数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
121,613	61,100 124,087	55,100 129,533	49,200	43,400		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	児童数の減少や1号から2号に移行する児童の増加により1号児童が減少するとの推測から、目標値は減少するように設定を行った。しかし、1号児童は減少しているものの、新制度（幼児教育無償化や補助金等）が開始したことにより、預かり保育を利用する保護者が増加したため、目標を大幅に上回り増加傾向にあると考えられる。



成果目標達成に向けた対応策等
新制度開始に伴う預かり保育事業のニーズに即した目標設定を行い、適正な利用者数の把握に努める。また、預かり保育の利用者数が増加していることから、国・県の補助を活用して、引き続き教育時間前後も預かり保育を利用できる体制を維持する。

令和5年度 事務事業実績報告シート

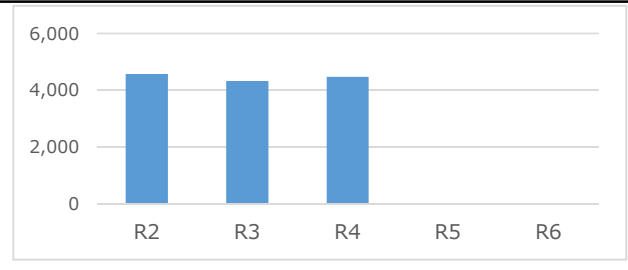
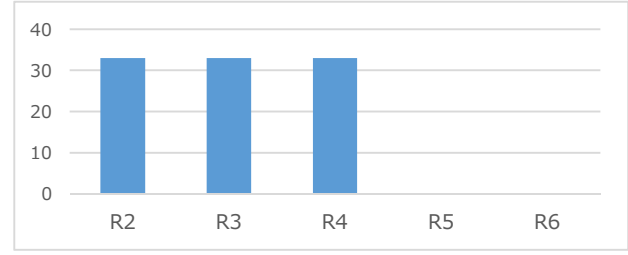
事務事業名	地域型保育給付事業	事業期間	平成 27 ~ 年度
担当部署・係名	保育幼稚園課 入所・入園係	担当課長名	豆田 伸介
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	23安心して子育てできる環境の充実	
	基本事業	子育てと仕事の両立のための支援	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	<p>○地域型保育給付費 子ども・子育て支援法に定められている施設型給付費の支給に係る施設として確認する地域型の教育・保育施設に対して、教育・保育に要した費用として国が定める公定価格に基づき算定した額を支払う。本来であれば、教育・保育に関する給付は保護者に対する個人給付を基礎とするが、確実に教育・保育に要する費用に充てるため、市から利用施設へ直接支払う仕組み（法定代理受領）とされている。 【費用負担 国58.2/100 県20.9/100 市20.9/100】</p> <p>○保育士・幼稚園教諭等処遇改善臨時特例事業（令和4年度9月まで） 令和4年4～9月において、職員に対して3%程度（月額9,000円）の賃金改善を行う教育・保育施設等に対して、当該賃金改善を行うために必要な費用を補助する。 【費用負担 国10/10】</p>				
事業の対象者	地域型保育施設に児童を通わせる保護者、地域型保育施設事業者				
根拠法令等	子ども・子育て支援法				
決算額の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業費総額	907,947	843,250	907,756		
うち佐賀市の負担額	248,467	199,134	209,888		

2 事業の活動実績

活動実績①					単位
延べ入所児童数					施設
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	
4,577	4,321	4,471			
活動実績②					単位
給付施設数（管外施設含む）					施設
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	
33	33	33			

3 活動実績の推移に関する分析及び今後の見込み

少子高齢化の進行により出生数の減少傾向が続くものの、共働き世帯等の増加に伴い、保育需要は今後も増加するものと見込まれる。

令和5年度 事務事業実績報告シート

事務事業名	施設等利用費負担事業	事業期間	令和 元 ~ 年度
担当部署・係名	保育幼稚園課 幼保事業係	担当課長名	豆田 伸介
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	23安心して子育てできる環境の充実	
	基本事業	子育てと仕事の両立のための支援	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	幼児教育・保育の無償化制度に基づき、3歳から5歳までの保育の必要性のある子どもの幼稚園、認定こども園（幼稚園部分）の預かり保育や認可外保育施設等の利用料、0歳から2歳までの住民税非課税世帯の子どもを対象とした保育初等の費用を無償とすることにより、幼児教育・保育の負担軽減を図り、少子化対策を推進するとともに、生涯にわたる人格形成の基礎を培う。				
事業の対象者	幼稚園・認定こども園（幼稚園部分）の預かり保育の利用者、認可外保育施設等の利用者				
根拠法令等	子ども・子育て支援法				
決算額の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業費総額	52,175	58,307	53,505		
うち佐賀市の負担額	13,050	14,577	13,377		

2 事業の活動実績

活動実績①					単位
延べ利用児童数（預かり保育）					人
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	
8,653	7,854	7,938			

活動実績②					単位
延べ利用児童数（認可外保育施設等）					人
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	
500	470	423			

3 活動実績の推移に関する分析及び今後の見込み

少子高齢化に伴い、出生数が低下している中で、女性の就業率上昇により保育認定が伸びる一方、幼稚園等の預かり保育等利用者に関する施設等利用給付認定の需要は減少しており、この傾向は今後も続くものと思われる。

※女性の就業率上昇により、幼稚園等（教育認定）よりも預かり時間の長い保育園等（保育認定）の需要が増加している。

令和5年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	認可外保育施設健康対策事業	事業期間	平成 20 ~ 年度
担当部署・係名	保育幼稚園課 幼保事業係	担当課長名	豆田 伸介
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	23安心して子育てできる環境の充実	
	基本事業	子育てと仕事の両立のための支援	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	佐賀県の認証保育施設基準に適合する認可外保育施設等が行う児童及び職員の健康診断等に要する経費の一部を補助することにより、児童及び職員の健康に係る処遇水準の確保・向上を図る。				
事業の対象者	佐賀県の認証保育施設基準に適合する認可外保育施設等に在籍する児童及び職員				
令和4年度 主な活動実績	認可外保育施設の入所児童の健康診断及び歯科検診経費に補助を行い、児童の健康増進に努めた。 また、感染症の拡大防止策として認可外保育施設が保育従事者等に対して実施する健康診断等の経費に対して補助を行った。 (児童の健康診断等) 対象施設数：1施設、対象児童数：10人 (職員の健康診断等) 対象施設数：2施設、対象職員数：5人				
決算の推移 (単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	56	33	38		
うち佐賀市の負担額	21	16	16		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
実施施設 (児童の健康診断等)						施設
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
2	2 1	2 1	2	2		

成果指標②						単位
実施施設 (職員の健康診断等)						施設
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
3	2 2	2 2	2	2		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	補助金を活用することにより、児童及び職員の健康に係る処遇水準の確保・向上が図られている。



成果目標達成に向けた対応策等
認可外保育施設等の児童及び職員の健康に係る処遇水準の確保・向上が引き続き図られるよう、現行の補助体制を維持する。 ※令和3年度以降の対象施設は2施設 (令和2年度をもって1施設閉業)

令和5年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	児童安全対策事業（認可外保育施設）	事業期間	平成 20 ～ 年度
担当部署・係名	保育幼稚園課 幼保事業係	担当課長名	豆田 伸介
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	23安心して子育てできる環境の充実	
	基本事業	子育てと仕事の両立のための支援	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	佐賀県の認証保育施設基準に適合する認可外保育施設等が加入する児童傷害保険に要する経費の一部を補助することにより、児童の安全な保育環境の推進を図る。				
事業の対象者	佐賀県の認証保育施設基準に適合する認可外保育施設等に在籍する児童				
令和4年度 主な活動実績	認可外保育施設に入所する児童の傷害保険加入への補助を行なった。 ・対象施設数：2施設 ・対象児童数：19人				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	62	25	29		
うち佐賀市の負担額	31	12	15		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
実施施設						施設
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
3	2 2	2 2	2 2	2 2		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	対象となる施設への補助を行うことができおり、認可外保育施設等の児童の安全な保育環境の推進が引き続き図られている。



成果目標達成に向けた対応策等
認可外保育施設等の児童の安全な保育環境の推進が引き続き図られるよう、現行の補助体制を維持する。 ※令和3年度以降の対象施設は2施設（令和2年度をもって1施設閉業）

令和5年度 事務事業進捗報告シート

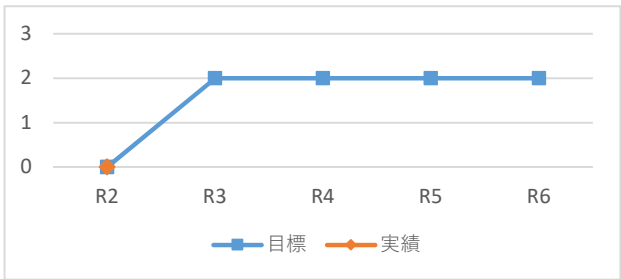
事務事業名	認可外保育施設特別支援保育事業	事業期間	平成 24 ~ 年度
担当部署・係名	保育幼稚園課 幼保事業係	担当課長名	豆田 伸介
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	23安心して子育てできる環境の充実	
	基本事業	子育てと仕事の両立のための支援	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	佐賀県の認証保育施設基準に適合する認可外保育施設等で、障がいをもつ児童が在籍するものに対し、障がい児保育のための保育士の人件費及び保育材料費の一部を補助することにより、認可施設、認可外保育施設等の種類の区別なく、障がいをもつ児童が適切な保育を受けることができるよう支援を行う。				
事業の対象者	佐賀県の認証保育施設基準に適合する認可外保育施設等に在籍する障がいをもつ児童				
令和4年度 主な活動実績	平成31年度以降、対象となる児童が認可外保育施設等に在籍していないため実績はない。 (参考)平成30年度の実績 ・対象施設数：2施設 ・対象児童数：5人				
決算の推移 (単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	0	0	0		
うち佐賀市の負担額	0	0	0		

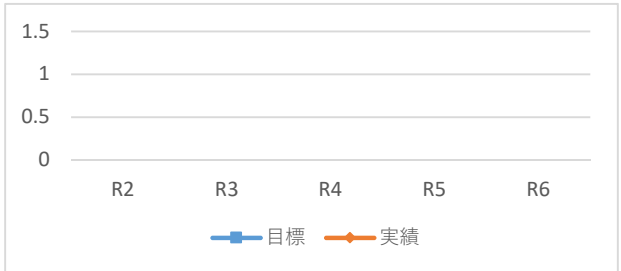
2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
実施施設						施設
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
0	2 0	2 0	2	2		



年度	目標	実績
R2	0	0
R3	2	0
R4	2	0
R5	2	0
R6	2	0

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		



年度	目標	実績
R2	0	0
R3	0	0
R4	0	0
R5	0	0
R6	0	0

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	対象となる児童が認可外保育施設等に在籍していないため実績はない。



成果目標達成に向けた対応策等
障がいをもつ児童の就園の機会が維持・拡充されるとともに、施設の種類の区別なく、障がいをもつ児童が適切な保育を受けることができるよう、現行の補助体制を維持する。

令和5年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	保育所等業務効率化推進経費	事業期間	平成 28 ~ 年度
担当部署・係名	保育幼稚園課 幼保事業係	担当課長名	豆田 伸介
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	23安心して子育てできる環境の充実	
	基本事業	子育て環境の整備	

1 事務事業の基本情報

事業概要	保育士等の業務負担の軽減を図り、働きやすい職場環境を整備するため、保育業務へのICT化を導入する保育事業者に対して補助を行う。				
事業の対象者	私立保育園、認定こども園、地域型保育事業者				
令和4年度 主な活動実績	補助事業実施施設数 ・私立保育園 1施設 ・認定こども園 1施設				
決算の推移 (単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	0	6,550	1,461		
うち佐賀市の負担額	0	2,185	487		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
保育業務ICT化率						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
57.3	65.0 68.3	70.0 69.9	75.0	80.0		

Year	Target (%)	Actual (%)
R2	57.3	57.3
R3	65.0	68.3
R4	70.0	69.9
R5	75.0	
R6	80.0	

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

Year	Target	Actual
R2	0	0
R3	0	0
R4	0	0
R5	0	0
R6	0	0

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	保育業務へのICTの導入が進んできている。



成果目標達成に向けた対応策等
保育に係る業務のICT化は保育士等の負担軽減にもつながることから、ICT化未対応の施設に対して当該補助制度を周知していく。

令和5年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	保育所等における睡眠中の事故防止対策事業	事業期間	平成 28 ~ 年度
担当部署・係名	保育幼稚園課 幼保事業係	担当課長名	豆田 伸介
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	23安心して子育てできる環境の充実	
	基本事業	子育てと仕事の両立のための支援	

1 事務事業の基本情報

事業概要	安全かつ安心な保育環境を整備するため、保育所等での児童の睡眠中の事故防止対策に必要な機器を導入する保育事業者に対して補助を行う。				
事業の対象者	私立保育園、認定こども園、地域型保育事業者				
令和4年度 主な活動実績	補助実績 ・私立保育園 1施設 ・認定こども園 1施設 ・地域型保育事業所 1施設				
決算の推移 (単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	0	1,314	933		
うち佐賀市の負担額	0	438	312		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
事業実施施設数						施設
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
0	10 4	10 3	10	10		

年度	目標	実績
R2	10	-
R3	10	4
R4	10	3
R5	10	-
R6	10	-

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

年度	目標	実績
R2	0	0
R3	0	0
R4	0	0
R5	0	0
R6	0	0

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	導入を見送った施設もあり事業実績が目標まで達していないが、申請園への助成を行った。

成果目標達成に向けた対応策等
保育所等における児童の午睡時は重大な事故につながる可能性もあることから引き続き施設に本事業を周知し、活用を促していく。

令和5年度 事務事業実績報告シート

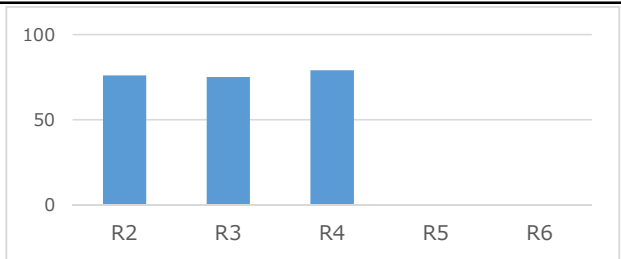
事務事業名	新型コロナウイルス感染症対策支援事業	事業期間	令和 2 ~ 令和 年度
担当部署・係名	保育幼稚園課 幼保事業係	担当課長名	豆田 伸介
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	安心して子育てできる環境の充実	
	基本事業	子育てと仕事の両立のための支援	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	保育所等における新型コロナウイルスの感染拡大の防止を図るため、保育所等に対して、その観点から必要と考えられる子ども用マスク、消毒液等の物品購入や保育所等の消毒等に要する費用を補助する。				
事業の対象者	私立保育園、認定こども園、地域型保育事業者				
根拠法令等	令和4年度（令和3年度からの繰越分）保育対策総合支援事業費補助金交付要綱				
決算額の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業費総額	36,041	31,543	32,592		
うち佐賀市の負担額	0	0	0		


2 事業の活動実績

活動実績①					単位
事業実施施設					施設
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	
76	75	79			



年度	実績
R2	76
R3	75
R4	79

活動実績②					単位
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	



3 活動実績の推移に関する分析及び今後の見込み

令和5年度に新型コロナウイルス感染症法上の位置づけが2類相当から5類へ移行となり、当該事業の補助要件が変更されることから、令和5年度以降については事業実施する施設が減少すると推測される。事業実施施設においては、国県と連携しながら保育業務が継続的に実施できるように支援していく。

令和5年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	保育体制強化事業	事業期間	平成 31 ~ 年度
担当部署・係名	保育幼稚園課 幼保事業係	担当課長名	豆田 伸介
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	安心して子育てできる環境の充実	
	基本事業	子育てと仕事の両立のための支援	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	保育士の就業継続及び離職防止を図り、保育士が働きやすい職場環境を整備するため、保育支援者の配置により保育体制を強化し、保育士業務の負担軽減に取り組んでいる保育事業者に対し、保育支援者の配置に必要な費用に対して支援する。				
事業の対象者	私立保育園、認定こども園				
令和4年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・保育支援者配置施設数：32施設 ・保育支援者配置数：50人 				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	22,979	28,648	33,317		
うち佐賀市の負担額	5,747	7,166	8,334		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
事業実施施設数						施設
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
23	33 27	33 32	33	33		

年度	目標	実績
R2	33	23
R3	33	27
R4	33	32
R5	33	33
R6	33	33

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

年度	目標	実績
R2	0	0
R3	0	0
R4	0	0
R5	0	0
R6	0	0

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	本制度の周知が進み取り組む施設が増えてきている。



成果目標達成に向けた対応策等
保育士の労働環境の改善につながる事業であることから、引き続き支援をしていくとともに、施設に本事業を周知し、活用を促していく。

令和5年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	保育補助者雇上強化事業	事業期間	平成 31 ~ 年度
担当部署・係名	保育幼稚園課 幼保事業係	担当課長名	豆田 伸介
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	安心して子育てできる環境の充実	
	基本事業	子育てと仕事の両立のための支援	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	保育士の補助を行う保育士資格を持たない職員の雇上げに必要な費用を補助することにより、保育園等における保育士の業務負担を軽減し、保育士の離職防止を図ることを目的とし、将来の保育士を育成や保育人材確保等の保育士の雇用管理改善や労働環境改善に積極的に取り組んでいる保育事業者に対し、保育士資格を持たない保育補助者の雇い上げに必要な費用を支援する。				
事業の対象者	私立保育園、認定こども園、地域型保育事業者				
令和4年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・保育補助者配置施設数：40施設 ・保育補助者配置数：88人 				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	40,848	56,750	74,118		
うち佐賀市の負担額	5,115	7,109	9,279		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
事業実施施設数						施設
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
29	41 35	41 40	41	41		

年度	目標	実績
R2	41	29
R3	41	35
R4	41	41
R5	41	41
R6	41	41

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

年度	目標	実績
R2	0	0
R3	0	0
R4	0	0
R5	0	0
R6	0	0

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	本制度の周知が進み取り組む施設が増えてきている。

成果目標達成に向けた対応策等
保育業務をサポートする人材を施設に配置することにより、保育士の負担軽減や保育の担い手の裾野を広げ保育人材の育成につながる事業であることから、保育現場の労働環境改善を支援をしていくとともに施設や市民等に本事業を周知し、活用を促していく。

令和5年度 事務事業進捗報告シート

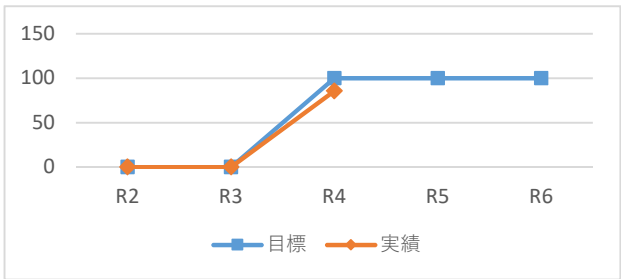
事務事業名	医療的ケア児保育支援事業	事業期間	令和 4 ~ 年度
担当部署・係名	保育幼稚園課 入所・入園係	担当課長名	豆田 伸介
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	安心して子育てできる環境の充実	
	基本事業	子育てと仕事の両立のための支援	

1 事務事業の基本情報

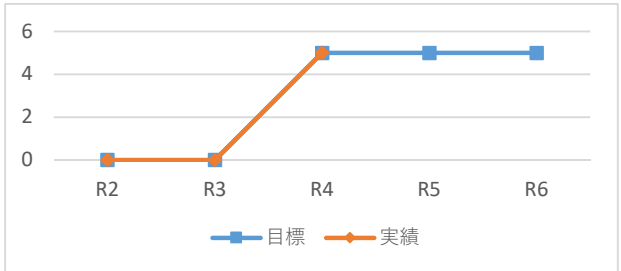
事業概要・目的	保育施設等において医療的ケア児に対し医療的ケアを実施するために、看護師又は准看護師を委託した訪問看護事業所から派遣する。医療的ケア児が、保育所等の利用を希望する場合に、受入れが可能となるよう、保育所等の体制を整備し、医療的ケア児の地域生活支援の向上を図る。				
事業の対象者	法第19条第1項第2号又は第3号に掲げる小学校就学前子どもに該当する医療的ケア児				
令和4年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・就園に向けた相談対応 ・訪問看護ステーション等から看護師等の派遣実施 ・関係機関との支援会議の開催 				
決算の推移 (単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	-	-	2,526		
うち佐賀市の負担額	-	-	422		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
医療的ケア児の就園割合 (年度末時点)						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
-	-	100 85.7	100	100		



成果指標②						単位
医療的ケア児受入施設数						園
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
-	-	5 5	5	5		



3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和4年度は基準値となるため、令和5年度の実績結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
<ul style="list-style-type: none"> ・佐賀県医療的ケア児支援センター等の関係機関や保護者と情報を共有する。 ・佐賀県医療的ケア児等就園支援コーディネーターの助言を得る等、支援会議の開催等により医療的ケア児にとって児童発達支援も含め適切な環境を提供できるよう検討を進める。

令和5年度 事務事業実績報告シート

事務事業名	保育施設等給食物価高騰等対策経費	事業期間	令和 4 ~ 年度
担当部署・係名	保育幼稚園課 入所・入園係、幼保支援係	担当課長名	豆田 伸介
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	安心して子育てできる環境の充実	
	基本事業	子育てと仕事の両立のための支援	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	<p>【私立】 食材料費等が高騰する中、保護者負担を増やさずに給食を円滑に提供するため、市内の保育所、認定こども園、地域型保育事業所に対し、給食の材料費等の高騰分に対して補助金を交付する。 【費用負担 市：2・3号認定 1/2 県：1号認定 10/10、2・3号認定 1/2】 ※上記の市負担分については、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を充てるため、実質市の負担はない。</p> <p>【公立】 食材料費等が高騰する中、保護者負担を増やさずに給食を円滑に提供するため、公立保育所及び幼稚園の給食材料費等の高騰分に対し予算措置をおこなった。 【費用負担 市：10/10】</p>				
事業の対象者	市内の私立保育所、認定こども園及び地域型保育事業所、公立保育所、幼稚園				
根拠法令等	佐賀県保育所等給食費支援事業費補助金要綱、佐賀市保育施設等給食物価高騰等対策経費補助金交付要綱				
決算額の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業費総額			11,410		
うち佐賀市の負担額			2,189		

2 事業の活動実績

活動実績①					単位	
実施施設数					施設	
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績		
		28				
活動実績②					単位	
実施施設における延べ児童数					名	
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績		
		28,147				

3 活動実績の推移に関する分析及び今後の見込み

令和4年度においては、補助対象となった施設数や補助額が当初の想定を大きく下回った。これは、食材料費支出を可能な限り抑える各施設での自助努力や、給食業務の委託先業者における食材料費高騰分の価格転嫁のタイミング等によるものと思われる。しかし、現状においては物価高騰の波が収まる気配はなく、令和5年度以降も前年度以上に各施設への影響が続くことが予想される。

令和5年度 事務事業進捗報告シート

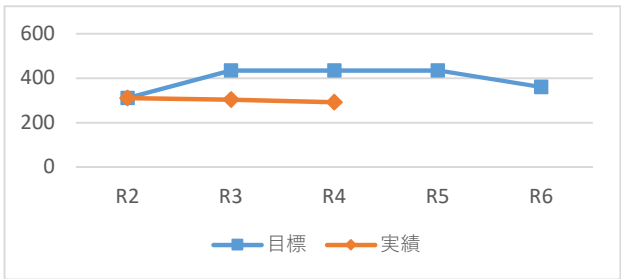
事務事業名	公立保育所管理運営事業	事業期間	昭和 40 ~ 年度
担当部署・係名	保育幼稚園課 幼保支援係	担当課長名	豆田 伸介
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	23安心して子育てできる環境の充実	
	基本事業	子育てと仕事の両立のための支援	

1 事務事業の基本情報

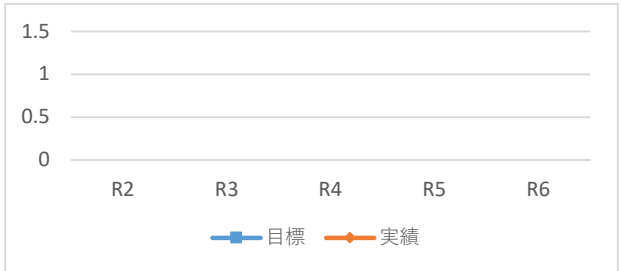
事業概要・目的	佐賀市の公立保育所4園で、児童福祉法に定められている施設及び運営の基準に基づき、入所児童が安全で健康的に保育されるよう保育環境を整備する。				
事業の対象者	公立保育所入所児童及びその保護者				
令和4年度 主な活動実績	川原保育所、若葉保育所、城東保育所及び成章保育所の管理運営を行った。				
決算の推移 (単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	205,443	238,178	239,780		
うち佐賀市の負担額	205,443	185,351	213,087		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
公立保育所入所児童数 (3月末時点)						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
311	435 304	435 292	435	360		



成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		



3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	入所児童数は目標に届いていないものの、入所している児童が安全で健康的に保育されるよう運営できている。



成果目標達成に向けた対応策等
引き続き、入所児童の健全な育成のため、特別保育事業の実施など多様化する保育ニーズに適応した保育機能を充実させる。また、児童福祉法に定められている施設及び運営の基準を維持し、入所している児童が安全で健康的に保育されるよう、保育環境の向上に努めると共に、今後の公立保育所の方向性を検討する。

令和5年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	子育て支援センター事業の充実（公立保育所）	事業期間	平成 7 ～ 年度
担当部署・係名	保育幼稚園課 幼保支援係	担当課長名	豆田 伸介
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	23安心して子育てできる環境の充実	
	基本事業	子育て環境の整備	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	家庭や地域における子育て機能の低下や子育て中の保護者の孤独感や不安感の解消に資するため城東保育所及び川原保育所で地域の子育て支援の機能の充実を図る。				
事業の対象者	未就園児及び保護者				
令和4年度 主な活動実績	【サロン実施回数】 102回 【育児相談件数】 278件				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	7,571	8,409	8,277		
うち佐賀市の負担額	0	2,807	2,759		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
育児不安が解消できた人の割合						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
87.4	90 89.1	90 79.5	90	90		

年度	目標 (%)	実績 (%)
R2	90	87.4
R3	90	89.1
R4	90	79.5
R5	90	90
R6	90	90

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

年度	目標	実績
R2	0	0
R3	0	0
R4	0	0
R5	0	0
R6	0	0

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	育児をしている多くの親の身近な拠り所として、子育てに関する悩みの相談の場、親同士の交流の場、講習会等の開催による学びの場となっている。前年度よりもサロンの実施回数、参加者数、育児相談件数が増加しているが、不安解消ができた人の割合が減った。



成果目標達成に向けた対応策等
多様化する子育てのニーズに対し、交流の場や育児に関する情報の提供や育児相談等の支援を継続していく。

令和5年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	延長保育事業（公立保育所）	事業期間	平成 12 ～ 年度
担当部署・係名	保育幼稚園課 幼保支援係	担当課長名	豆田 伸介
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	23安心して子育てできる環境の充実	
	基本事業	子育てと仕事の両立のための支援	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	公立保育所の入所児童のうち、保護者の就業等のため保育標準時間（11時間）または保育短時間（8時間）を超えて保育を必要とする児童について、全ての公立保育所で保育時間後に19時まで延長保育を実施する。				
事業の対象者	公立保育所入所児童及びその保護者				
令和4年度 主な活動実績	延長保育を公立保育所4園で実施した。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	12,965	13,680	10,312		
うち佐賀市の負担額	12,965	13,268	9,977		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
延長保育延べ利用数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
3,299	4,663 3,418	4,663 2,912	4,663	4,049		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	コロナ禍の影響が続いており利用児童数は成果目標に届いていないものの、延長保育を必要とする児童の受け入れができています。



成果目標達成に向けた対応策等
就労形態の多様化に伴い延長保育に対するニーズは非常に高く、全ての公立保育所で現行通り延長保育を実施する。

令和5年度 事務事業進捗報告シート

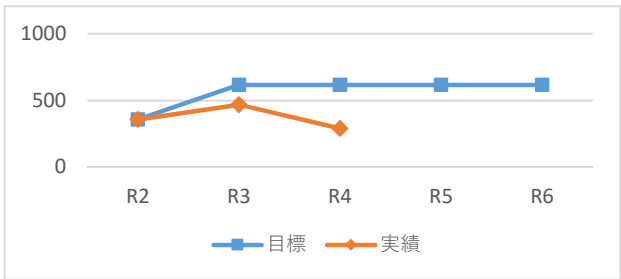
事務事業名	一時保育事業（公立保育所）	事業期間	平成 3 ～ 年度
担当部署・係名	保育幼稚園課 幼保支援係	担当課長名	豆田 伸介
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	23安心して子育てできる環境の充実	
	基本事業	子育てと仕事の両立のための支援	

1 事務事業の基本情報

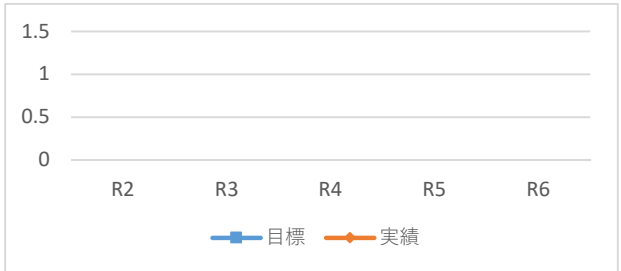
事業概要・目的	公立川原保育所において、保護者の急病や冠婚葬祭、出産、育児疲れ等により、緊急的、一時的に家庭で子どもが保育が困難になった場合に、未就園の子どもを預かる。				
事業の対象者	佐賀市内に居住し、児童福祉法第24条の規定による保育所での保育の実施対象とならない就学前児童				
令和4年度 主な活動実績	公立川原保育所において一時保育が必要な生後6ヶ月から就学前までの児童を預かった。 令和4年12月～令和5年2月末までの3か月間、園舎の一部改修工事に伴い、一時預かり業務を休止したために実績数値が下がっている。 (延べ利用数) ・1日預かり：234人 ・半日預かり：56人				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	3,065	5,104	3,757		
うち佐賀市の負担額	235	1,346	1,782		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
一時保育利用延べ児童数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
357	617 468	617 290	617	617		



成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		



3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	コロナ禍による利用減がみられるなかでも成果目標を概ね達成できている。



成果目標達成に向けた対応策等
今後の利用状況や私立教育・保育施設等の動向を踏まえつつ、川原保育所で現行通り一時保育を実施する。

令和5年度 公共事業進捗報告シート

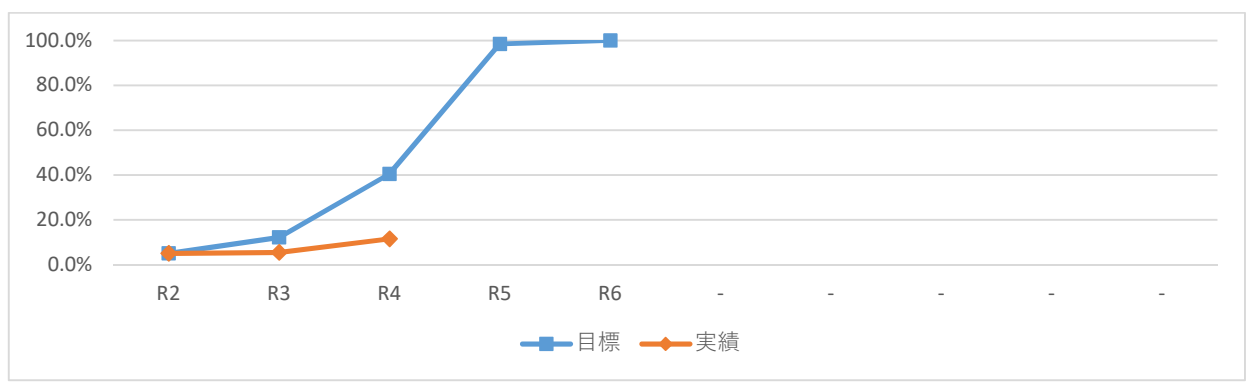
公共事業名	公立認定こども園整備事業		事業期間	令和 2 ~ 令和 6 年度
担当部署・係名	保育幼稚園課 幼保事業係		担当課長名	豆田 伸介
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち		
	施策	安心して子育てできる環境の充実		
	基本事業	子育てと仕事の両立のための支援		

1 公共事業の基本情報

整備概要	成章保育所と本庄幼稚園を統合して新たに公立の認定こども園を整備する。				
整備の目的	待機児童の解消に向けた適正な入所枠の確保を図るとともに、教育・保育環境の充実及び児童福祉の増進のため、老朽化した本庄幼稚園及び成章保育所を統合し、新たに公立の認定こども園を整備する。				
事業費決算（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
工事請負費			98,212		
測量・監理等委託料	13,233	7,451	253		
用地購入費	68,354				
補償費	143				
その他事務費等	30		317		
計	81,760	7,451	98,781		
うち佐賀市の負担	10,260	751	7,002		
区分	年度	年度	年度	年度	合計
工事請負費					98,212
測量・監理等委託料					20,937
用地購入費					68,354
補償費					143
その他事務費等					347
計					187,992
うち佐賀市の負担					18,013

2 事業の進捗率

R2	目標 実績	R3	目標 実績	R4	目標 実績	R5	目標 実績	R6	目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績
	5.0% 5.0%		12.2% 5.4%		40.5% 11.5%		98.4% 11.5%		100.0% 11.5%				



令和5年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	エスプラッツ子育て支援センター管理事業	事業期間	平成 19 ~ 年度
担当部署・係名	保育幼稚園課 幼保支援係	担当課長名	豆田 伸介
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	23安心して子育てできる環境の充実	
	基本事業	子育て環境の整備	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	常設の地域子育て支援拠点として、乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場の提供や子育てについての相談、情報の提供、助言、主催講座等を実施する。また、保護者のリフレッシュを目的とした一時託児事業や地域の自主サークルの支援も行う。				
事業の対象者	未就学児及びその保護者				
令和4年度主な活動実績	【利用者数】17,980人 【託児利用者数】93人 【子育てサロン実施回数】117回 【育児相談件数】4,025件				
決算の推移 (単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	21,723	22,176	24,356		
うち佐賀市の負担額	14,551	10,398	9,420		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
育児不安が解消できた人の割合						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
87.4	90 89.1	90 79.5	90	90		

年度	目標 (%)	実績 (%)
R2	90	87.4
R3	90	89.1
R4	90	79.5
R5	90	90
R6	90	90

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

年度	目標	実績
R2	0	0
R3	0	0
R4	0	0
R5	0	0
R6	0	0

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	育児をしている多くの親の身近な拠り所として、子育てに関する悩みの相談の場、親同士の交流の場、講習会等の開催による学びの場となっている。前年度よりもサロンの実施回数、参加者数、育児相談件数が増加しているが、不安解消ができた人の割合が減った。



成果目標達成に向けた対応策等
多様化する子育てのニーズに対し、交流の場や育児に関する情報の提供や育児相談等の支援を継続していくとともに主催事業や一時託児事業等の充実を図る。

令和5年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	公立幼稚園運営事業	事業期間	昭和 29 ~ 令和 5 年度
担当部署・係名	保育幼稚園課 幼保支援係	担当課長名	豆田 伸介
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	24就学前からの教育の充実	
	基本事業	幼児教育の充実	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	佐賀市唯一の公立幼稚園であり、その運営の円滑化を図るために必要な経費（会計年度職員人件費、燃料費、光熱水費、消耗品費、備品購入費等）を支出する				
事業の対象者	本庄幼稚園に通う園児				
令和4年度主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・園の運営が円滑に行われるよう、施設維持管理を行った。 ・令和6年度から成章保育所と統合し、認定こども園として開園予定 				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	年度
事業総額	13,342	14,190	13,140		
うち佐賀市の負担額	13,342	14,190	13,140		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
各年3月末の児童数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	目標 実績		
41	60 30	60 33	60			

成果指標②						単位
定員の充足率						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	目標 実績		
30.4	44.4 22.2	44.4 24.4	44.4			

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	目標値に達してはいないが、R6年度開園のこども園への入園を見越して、入園の希望者が例年より増加しており、令和5年度についても同様の傾向になると思われる。



成果目標達成に向けた対応策等
幼少一貫教育の推進し、幼児の気持ちに寄り添いながら、感受性豊かで明るく活動する園児の育成を目指す園の教育目標や取り組みなどについて周知を行い、入園者増につなげていく。

令和5年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	預かり保育事業（公立幼稚園）	事業期間	平成 22 ～ 令和 5 年度
担当部署・係名	保育幼稚園課 幼保支援係	担当課長名	豆田 伸介
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	23安心して子育てできる環境の充実	
	基本事業	子育てと仕事の両立のための支援	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	本庄幼稚園に通う児童で保護者の就労等により預かり保育が必要な児童に対し、降園時間（教育時間終了後）から18時まで保育を実施する。				
事業の対象者	本庄幼稚園に通う児童のうち保護者の就労等により預かり保育が必要な児童				
令和4年度 主な活動実績	本庄幼稚園に通う児童について、降園時間から18時まで預かり保育を実施した。 (延べ利用数) ・平日：1,044人 ・長期休業中：209人				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	1,279	1,340	1,321		
うち佐賀市の負担額	881	332	676		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
延べ利用者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	目標 実績		
1,364	1,500 985	1,500 1,253	1,500			

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	目標達成はできていないが、平日、長期休業期間における保護者の就労等で預かり保育が必要な児童の保育は実施できており、今後も目標達成に努めたい。



成果目標達成に向けた対応策等
就労等により預かり保育の必要性は高まってきている。まずは必要とする保護者への預かり保育の提供を着実に実施して行くことで、利用の増加につなげていきたい。

令和5年度 事務事業実績報告シート

事務事業名	私立幼稚園施設型給付事業	事業期間	平成 27 ~ 年度
担当部署・係名	保育幼稚園課 入所・入園係	担当課長名	豆田 伸介
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	24就学前からの教育の充実	
	基本事業	幼児教育の充実	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	○施設型給付費 子ども・子育て支援法に定められている施設型給付費の支給に係る施設として確認する教育・保育施設に対して、教育・保育に要した費用として国が定める公定価格に基づき算定した額を支払う。 本来であれば、教育・保育に関する給付は保護者に対する個人給付を基礎とするが、確実に教育・保育に要する費用に充てるため、市から利用施設へ直接支払う仕組み（法定代理受領）とされている。 【費用負担 全国統一費用部分 4～9月 公定価格の73.8% 国1/2 県1/4 市1/4 10～3月 公定価格の74.2% 国1/2 県1/4 市1/4 地方単独費用部分 4～9月 公定価格の26.2% 県1/2 市1/2 10～3月 公定価格の25.8% 県1/2 市1/2】 ○保育士・幼稚園教諭等処遇改善臨時特例事業（令和4年度9月まで） 令和4年4～9月において、職員に対して3%程度（月額9,000円）の賃金改善を行う教育・保育施設等に対して、当該賃金改善を行うために必要な費用を補助する。				
事業の対象者	私立幼稚園に児童を通わせる保護者、私立幼稚園事業者				
根拠法令等	子ども・子育て支援法				
決算額の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業費総額	494,370	414,848	424,997		
うち佐賀市の負担額	64,035	130,378	131,975		

2 事業の活動実績

活動実績①					単位	
延べ入所児童数					人	
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績		
7,277	5,645	5,228				
活動実績②					単位	
給付施設数（管外施設含む）					施設	
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績		
16	14	16				

3 活動実績の推移に関する分析及び今後の見込み

・少子高齢化に伴い、出生数が低下している中で、女性の就業率上昇により保育認定の需要が伸びる一方、教育認定の需要は減少しており、この傾向は今後も続くものと思われる。
 ※女性の就業率上昇により、幼稚園（教育認定）よりも預かり時間の長い保育園等（保育認定）の需要が増加している。
 ・近年、管内私立幼稚園が認定こども園に移行する傾向があり、幼稚園としての全体の施設数・入所児童数・事業費は減少していくものと思われる。

令和5年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	私立幼稚園振興事業	事業期間	平成 5 ~ 年度
担当部署・係名	保育幼稚園課 幼保事業係	担当課長名	豆田 伸介
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	24就学前からの教育の充実	
	基本事業	幼児教育の充実	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	幼児教育の振興、質の向上及び市立幼稚園の運営の円滑化を図るため、佐賀市内の私立幼稚園、佐賀市私立幼稚園・認定こども園連合会、佐賀市私立幼稚園・認定こども園PTA連合会に対し、運営費や教育振興に係る経費に対し補助金を交付する。				
事業の対象者	市内の補助対象となる私立幼稚園等に通う園児				
令和4年度主な活動実績	佐賀市私立幼稚園・認定こども園連合会等が実施する以下の事業に対し補助金を交付した。 一般廃棄物収集に関する委託及び研修会の開催・参加に関する経費 チャイルドファンタジーフェスタ（園児向けのイベント）実施に関する経費 職員研修及び教育充実のための経費				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	11,606	11,192	11,017		
うち佐賀市の負担額	11,606	11,192	11,017		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
園児が楽しく幼稚園・保育所（園）に通っていると感じている市民の割合						%
R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	目標	実績
81.1	94.8 87.8	94.9 89.3	94.9	95.0		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	目標	実績

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	私立幼稚園等が実施する事業に対し、その経費の一部を補助することにより園の運営の円滑化及び幼児教育の振興を行うことが出来ている。



成果目標達成に向けた対応策等
幼児教育の振興、質の向上を行うためには、佐賀市私立幼稚園・認定こども園連合会、佐賀市私立幼稚園・認定こども園PTA連合会及び佐賀市内の幼稚園・認定こども園の運営や教育内容の維持・充実が必要であるため、引き続き支援をしていく。

令和5年度 事務事業進捗報告シート

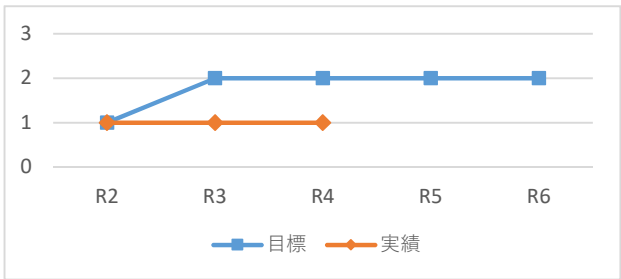
事務事業名	私立幼稚園預かり保育推進事業	事業期間	平成 16 ~ 年度
担当部署・係名	保育幼稚園課 幼保事業係	担当課長名	豆田 伸介
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	23安心して子育てできる環境の充実	
	基本事業	子育てと仕事の両立のための支援	

1 事務事業の基本情報

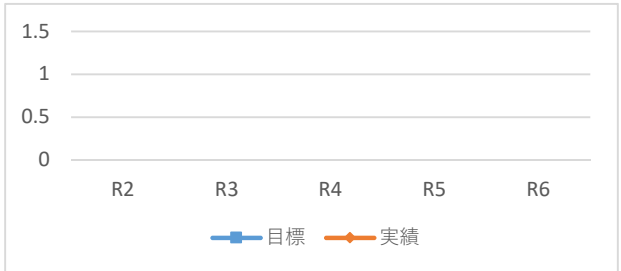
事業概要・目的	保育の必要な児童（佐賀市在住）を対象とした預かり保育事業を行う私立幼稚園（施設型給付を受けない幼稚園）に対し、その経費の一部を補助することにより、保育の必要な児童の私立幼稚園への就園促進と、私立幼稚園及び保護者の負担軽減を図る。				
事業の対象者	私立幼稚園（新制度未移行）に在籍する児童				
令和4年度主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> 対象施設数：1施設 延べ利用児童数：4,580人 				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	1,030	1,030	1,030		
うち佐賀市の負担額	1,030	1,030	1,030		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
実施園						施設
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
1	2 1	2 1	2 1	2 1		



成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		



3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	私立幼稚園（施設型給付を受けない幼稚園）に対し、預かり保育事業の経費の一部を補助することにより、対象の幼稚園及び保護者の負担軽減を図ることができている。



成果目標達成に向けた対応策等
私立幼稚園（施設型給付を受けない幼稚園）に通う保育の必要な児童が引き続き預かり保育を利用できるよう、現行の補助体制を維持する。

令和5年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	私立幼稚園特別支援教育奨励費補助事業	事業期間	平成 14 ~ 年度
担当部署・係名	保育幼稚園課 幼保事業係	担当課長名	豆田 伸介
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	24就学前からの教育の充実	
	基本事業	幼児教育の充実	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	心身に障害等のある幼児の私立幼稚園及び認定こども園への就園を促進するとともに、私立幼稚園等における特別支援教育の充実と振興を図るため、心身に障害等のある幼児を在園させる私立幼稚園等の設置者に対し、その経費の一部を補助することにより、就園の機会を拡充し健全な発達を図る。				
事業の対象者	私立の認定こども園・幼稚園に在籍する障がい児				
令和4年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> 対象施設数：37施設 延べ利用児童数：159人 				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	25,392	41,360	50,381		
うち佐賀市の負担額	18,776	29,575	36,847		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
補助対象児童数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
92	115 127	115 159	115	115		

Year	Target	Actual
R2	115	92
R3	115	127
R4	115	159
R5	115	
R6	115	

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

Year	Target	Actual
R2		0
R3		0
R4		0
R5		0
R6		0

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	特別な支援が必要な心身に障害等のある幼児の受け入れ体制を構築することで、私立幼稚園及び認定こども園への就園を促進するとともに、園における特別支援教育の充実と振興を図ることができている。



成果目標達成に向けた対応策等
特別な支援が必要な心身に障害等のある幼児の就園の機会を拡充し、健全な発達を助長するため、私立の幼稚園及び認定こども園が行う障がい児教育に要する経費に対し補助する体制を維持する。

令和5年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	実費徴収に係る補給付事業（私立幼稚園）	事業期間	令和 元 ~ 年度
担当部署・係名	保育幼稚園課 幼保事業係	担当課長名	豆田 伸介
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	24就学前からの教育の充実	
	基本事業	幼児教育の充実	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	私立幼稚園（私学助成）の利用者のうち、低所得世帯等を対象に各施設において、実費徴収を行うことができることとされている食事の提供に要する費用（副食材料費）を補助する。				
事業の対象者	私学助成幼稚園に在籍する佐賀市在住の園児（補助対象：私学助成幼稚園）				
令和4年度 主な活動実績	私学助成幼稚園を通じて、補助対象者に副食材料費（月額上限4,500円）を補助した。 ○対象施設 3施設 ○補助児童数 38人				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	1,136	1,083	759		
うち佐賀市の負担額	380	363	255		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
補助児童数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
60	100 56	100 38	100	100		

年度	目標	実績
R2	100	60
R3	100	56
R4	100	
R5	100	
R6	100	

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

年度	目標	実績
R2	0	0
R3	0	0
R4	0	0
R5	0	0
R6	0	0

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	当該事業は要件を満たす世帯に対して給付を行うものであるため、数値的な目標設定はなじみがなく、達成することはできなかった。しかし、本事業において、給付対象者に対して確実に申請勧奨を行い、低所得世帯・多子世帯における経済的負担の軽減に貢献したことから、一定の効果を挙げたといえる。



成果目標達成に向けた対応策等
引き続き給付対象者に対して確実に助成できるように体制を確保する。

令和5年度 事務事業実績報告シート

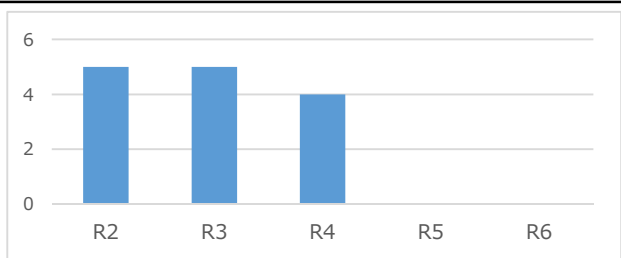
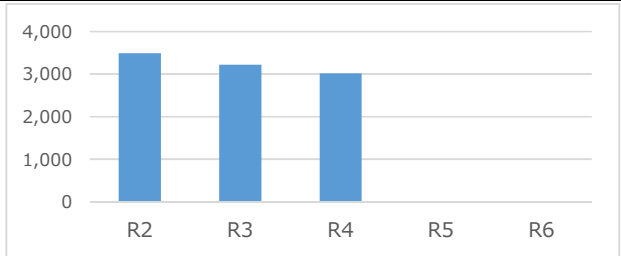
事務事業名	施設等利用費負担事業	事業期間	令和 元 ~ 年度
担当部署・係名	保育幼稚園課 幼保事業係	担当課長名	豆田 伸介
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	24就学前からの教育の充実	
	基本事業	幼児教育の充実	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	3歳から5歳までの全ての子どもたちの幼稚園の教育に係る費用を無償とすることにより、幼児教育の負担軽減を図り、少子化対策を推進するとともに、生涯にわたる人格形成の基礎を培うもの。				
事業の対象者	私学助成幼稚園及び国立大学附属幼稚園に在籍する佐賀市在住の園児				
根拠法令等	子ども・子育て支援法				
決算額の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業費総額	75,304	69,391	62,835		
うち佐賀市の負担額	17,534	16,097	14,301		

2 事業の活動実績

活動実績①					単位
延べ給付児童数					人
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	
3,492	3,222	3,019			
活動実績②					単位
給付施設数（管外施設含む）					施設
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	
5	5	4			



3 活動実績の推移に関する分析及び今後の見込み

少子高齢化に伴い、出生数が低下している中で、私学助成幼稚園の子どもも減少しており、この傾向は今後も続くものと思われる。